

テーマ3
これからの
まちづくりについて

志村：皆さんさまごまな思いがあるようにですね。私も、市職員として、皆さんにお伝えしたいことを、いろいろなメディアを通してこれからも発信していきたいと思っています。最後になりますが、これからの苦小牧のまちづくりについて、皆さんが期待することをお話しいただきたいと思っています。



アーサーさん：苦小牧のよいところは、空港が近く、新鮮なシーフードがたくさんある。支笏湖にもすぐ行けるし、スキー場も遠くないところだと思っています。苦小牧は自然もあってちょうどよいので住みやすいです。

イベントなどでユニークなアイデアを取り入れるとよいと思いますね。例えば、ハスカップでできる料理やデザートなどを用意し、ホッキは苦小牧の特別な食べ物だから、お祭りの中でもっと出したります。そういうイベントをどんどんやると、苦小牧のいいところを、みんなが分かってくれると思います。



佐藤さん：シーフードもそうですが、苦小牧では野菜も地域でたくさん作っているの、野菜を使った料理を出して、ユニークな名前を付ける。そして実は苦小牧で作っていて、苦小牧の特産品だとPRする。そういう風に、「苦小牧ってすごいね」と認知される

ように、特産品をもっとアピールしたいですね。そのような活動は、まず自分たちで苦小牧のことを勉強するとか自主的な行動がすごく重要だと思っています。みんなが苦小牧をよくしていこうと、考えるようになると思います。

重光さん：日々フェイスブックで町内会活動などを伝えていますが、春には、珍しい桜を見つけて、写真を撮ってフェイスブックに投稿しています。いろいろな所にきれいな桜がたくさんあることに、気付くことができました。また、町内会のフェイスブックを通して他の町内会と交流ができましたし、お隣の町内会の催しにお邪魔することなどで、町内会同士の交流も



▲フェイスブックの運営を行っている重光さん

直しや住民投票条例などについて議論しました。現在は、第八区自治会をモデルケースに町内会フェイスブック開設の支援などを行っています。

市民が主役のまちづくり
取り組みをご紹介します！

とまチョップの誕生

「ゆるキャラでまちを盛り上げよう」という中学生の提案をきっかけに、子ども会議で協議を進めて誕生したのが、皆さんご存じのとまチョップです。



マイバッグ持参運動

マイバッグをスーパーなどに持参する方は多いのではないのでしょうか。これは、スーパーなどの事業者も、買い物をする皆さんも主役となつて行う、ごみ減量を進める運動です。

資源物の集回収

町内会、学校、各種同好会など多くの市民団体が協力して、段ボールや新聞紙といった資源物を回収する、市民の自主的な取り組みです。

地域清掃

春と秋に、地域の方々による市内一斉清掃が行われています。町内会や老人クラブ、企業などで普段から行っている道路清掃なども活発です。